

第一部(基本編) 質の高い「特別の教科 道徳」の授業づくりのために

◎「特別の教科 道徳」の目標に対する正しい理解

(「主体的・対話的で深い学び」を基本とする学習活動)

「(前略)よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を(広い視野から)多面的・多角的に考え、(人間としての)自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる」

(学習指導要領 ()は中学校)

という内容について正しく理解し、実践し、評価し、改善を加えていくことが大切!!

◇「道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめる」とは

誰による理解の基に見つめるのか?! 児童生徒一人一人の理解から ⇒ 厳密には、皆異なる!!
1時間の授業の中で何度見つめるのか?! 一度とは限らない!!

「自己内対話」=自分が自分に自分を問う(道徳科で特に大切な学習活動)

「道徳(どうとく)」に関する学習は、その特質上、「どう説く」すなわち教えられて分かる学習指導もさることながら、「どう解く」すなわち自ら求めて(主体的探求)解かる(納得解)学習指導が重要(教師が求める)「正しい答え」よりも(自分自身に対する)「正直な答え」を!!

発問の4類型 共感的発問・分析的発問・投影的発問・批判(範例)的発問

永田繁雄(東京学芸大学)

◇「道徳的諸価値についての理解を基に、物事を(広い視野から)多面的・多角的に考える」とは

一面的、表層的にならない考察。自分とは異なる感じ方・考え方等の交流による考察を!!

多面的に考えるとは?! 道徳的価値そのものが本質的に有している特性等の観点から考える。

例 「友情」

仲良くする、助け合う、理解し合う、信頼し合う、学び合う、励まし合う、高め合う etc

多角的に考えるとは?! 上記下線部以外の観点等から考える。

例 異なる立場から考えたり、時間や空間を変えて考えたりするなど、考える観点や条件を変えて多様な角度から考えること(～と違ってAさんの立場だったら・～しなかったとしたら等)
そのためにも、児童生徒の発言を傾聴して受け止め、その発言等を生かす!!

重層的発問(「問い返し」「切り返し」等)の工夫 ⇒ 児童生徒自身・相互による「問答法」へ確認(立場・対象) 根拠・理由 言い換え 具体化(例示) 対比 批判・反例 条件変更(もし～)
(主語・目的語を問う) (切り返し・ゆさぶり⇒本音へ!)

◇「道徳的諸価値についての理解を基に、(人間としての)自己の生き方についての考えを深める学習」とは (下線部を相互に関連付ける⇒より深い理解・考え・学び)

「道徳的価値や人間としての{自己の}生き方についての自覚」を深める学習

道徳科における発問をより効果的なものにするためには?! 主体的な学び
考える価値・必然性のある問いづくり(→広い視野から多面的・多角的な思考)⇔対話的な学び

- ◇ 考えたくなるような問い 考えざるをえない問い ↓↓
 - ◇ これまでには考えたことのないようなことや観点から考えようとする問い 深い学び
 - ◇ 他の人の考えを聴きたくなるような問い
 - ◇ 自問・内省できるような問い
- (新たな視点の提示, 概念くだき, 問い返し, 揺さ振り, 価値葛藤, 心理的葛藤等)
- ◇ 自己の生き方や人間としての{自己の}生き方について深く考えられる問い

《道徳授業は か・き・く・け・こ》

～「主体的・対話的で深い学び」の実現へ～

「～べき」タイプの授業（指導者ばかりがよくしゃべる） → べきべき壊れる授業



「～たい」タイプの授業（児童生徒が主役，聴きたい 語り たい 考え たい） → 大切にしたい授業

道徳授業における「わかる授業」（→「学びがいのある授業」）とは



道徳的価値・人間としての自己の生き方についての自覚へ

自己の生き方・人間としての生き方という観点から

- ① 自分がわかる（時として気付いていない自分の感じ方・考え方等がわかる）
- ② 他者(人間)がわかる（自分以外の人の感じ方・考え方・生き方等がわかる）
- ③ 道徳的価値がわかる（人間として生きていく上で大切なことがわかる）

聴ける・語れる・深く考えられる 集団



有意義な道徳授業を創造するには 以下の「かきくけこ」を授業の中に！

か 感動・葛藤（価値葛藤・心理的葛藤） → 考えたくなる

語り 合い（←話し 合い） 考える必然性のある問い 《改善》

き 共感（的理解）・疑問・気付き・驚き（既成概念・価値観 くだき）

聴き 合い 協働 共育（共に考え 育つ・共に 育てる）

く 食い込み（なぜ？ どのように？等 を大切にした 重層的発問，反問教師）

児童生徒の言葉 を生かす（←問い返し でさらに深く!!）

け 経験（児童生徒一人一人の具体的生活）の 振り返りと 活かし 《検証》

こ 交流（多様な感じ方，考え方）（授業は生きもの） こだわる な!